

# イベントレポート

## 秋の動物ふれあいフェスティバル(10月4日)

ツキノワグマの  
展示場見学



恒例の「どうぶつパレード」はお客様の密集を避けるため実施できませんでしたが、園内10か所に設置したクイズに挑戦する「ウォーククイズ」や、普段動物たちが過ごす展示場内部の見学を開催しました。

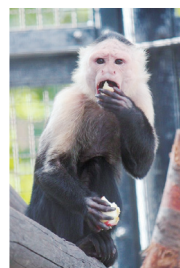
また、13年振りに当園で誕生したキリンの愛称募集を行い、応募のあった約1,100点の中から「ケイタ」が選ばれました。命名式には名付け親の石川泰聖君とそのご家族、穂積市長も出席し、愛称の決定をお祝いました。

### ウォーククイズの問題に挑戦!

**問題** ノドジロオマキザルがよくする変わった食べ方はどれ?

- ① 仲間から食べさせてもらう
- ② エサを頬袋の中に入れて、ふやかしてから食べる
- ③ リンゴなどを硬いものにこすりつけ、すりおろして食べる

答えはページ下部にあります



キリンの命名式  
(命名者ご家族と  
穂積市長)



## どうぶつサイエンス(10月18日)

2021年の干支が「丑」なので、「ウシのなかまのひみつをさぐろう」をテーマに、自然科学学習館との共催で実施しました。大森山動物園にウシはいませんが、ウシに近い動物といえばキリンです。7月に生まれたキリンのケイタについて学んだあと、授乳の様子を見学しました。また動物の骨の標本を使い、ウシ科とシカ科の違いを見てもらいました。参加者からは、普段はできない体験ができたと非常に好評でした。



キリンの  
エサやり体験

感謝祭  
セレモニー



## さよなら感謝祭(11月29日)

穂積市長や高木名誉園長にご参加いただき、お客様や動物たちへの感謝を込めて開催しました。セレモニーでは亡くなったトナカイの「雁来<sup>かりき</sup>」などに慰霊の献花を行ったほか、イベントでは、アシカのトレーニング体験やリース作り体験などを行いました。新型コロナウイルスの影響で例年通りとはいかないシーズンでしたが、無事に締めくくることができました。



アシカの  
トレーニング体験

### 今後のイベント

2021年通常開園

3月20日(土)～11月30日(火)  
※期間中無休



## いい夫婦の日イベント(11月22日)

今年も「いい夫婦の日イベント」を開催しました。事前に申し込んでいただいたご夫婦やカップルの皆さんに、ヤマアラシとペンギンのエサやり体験やコモンマーモセットのどうぶつ解説を楽しんでいただいたほか、ポニーとの記念撮影ではパートナーへのメッセージをボードに書き、日頃の感謝の気持ちなどを伝え合ってもらいました。

ポニーとの  
記念撮影



コモンマーモセットの  
どうぶつ解説

### 特別編

## ヤマアラシだって目立ちたい!!

飼育展示担当 堀籠麻子

「あっ!ハリネズミ!」とよく間違われるアフリカタテガミヤマアラシ(以下ヤマアラシ)。分かりやすいはずなのに名前と見た目がなかなか一致しないヤマアラシ。そう、決して花形動物ではありません。飼育担当者としてもっとヤマアラシの魅力をアピールしようと、今回、入園ゲートを入ってすぐのヤマアラシの展示場をリニューアルしました。

ヤマアラシが穴を掘るため地面の土は残し、好きなときに食べられる草むらや、水浴び、落ち葉遊びができるプール、来園者と目線が合うお立ち台などを作り、ヤマアラシが自由に行動を選択できる展示場になりました。11月22日に開催された「いい夫婦の日イベント」では7組の夫婦にエサやり体験をしてもらいました。参加者からは「意外にかわいい、面白い!」と好評で、皆さんの夫婦愛をお裾分けしてもらったので、ヤマアラシ夫婦にもいいお知らせが届くかも!?

さらに! プレーリードッグ展示場にも「プレ天空橋」を架け、2階建てにしました。プレーリードッグは好奇心旺盛で意外に運動神経がいいので、小走りで橋を渡る姿をご堪能ください。これからも動物とお客様、飼育員がわくわくするような動物園作りを工夫していきますのでお楽しみに!



天空橋を渡る  
プレーリードッグ



新展示場で  
ヤマアラシの  
エサやり体験